

要望書案にあなたのご意見を！

～ 原小跡地活用をきっかけに未来のまちづくり～

4月14日に開催された原山小学校跡地活用協議会第8回委員会では、市へ提出予定の要望書案について審議され内容が決まりました。そこで、今回は要望書案の概要と今後の動きについて説明します。



愛工大生による原小跡地活用の提案プレゼンも行われた委員会

■ 要望書案の概要は以下のとおりです。

◎ はじめに本協議会の設立や活動の経過を記載

- ・ 本協議会は令和4年11月に設立され、これまで委員会での協議や住民アンケート、大学生との共同によるワークショップ、萩山台・八幡台自治会との意見調整などを行ってきました。

◎ 要望事項は跡地活用に関することや市との協働に関すること

- ・ 跡地活用に関しては、跡地活用の方向性など3項目。市との協働に関しては、菱野団地3台での意見調整など4項目を要望します。

◎ 添付書類は本協議会の活動記録やアンケート・ワークショップの結果など

- ・ 要望書に本協議会に関する関係書類や活動記録などを添付します。私たちのこれまでの成果と熱量を市に届けます。



▶ 本協議会の今後の動き(日程)は以下のとおりです。

4月～5月	6月(予定)	7月～
・ 要望書案の意見徴集 ※原山台住民、萩山台・八幡台自治会	・ 市へ要望書提出 ※次期や方法等は未定	・ 活動の継続 ※新たな取組みを含む

★要望書案の概要版と意見書様式は、4月末に各自治会経由で全戸配布します。
また、概要案は原山台地域力向上委員会のホームページで見られます。
右のQRコードを読み取ってください。



令和6年 月 日

瀬戸市長 川本雅之 様

原山小学校跡地活用協議会
会長 宮丸 誠

瀬戸市立原山小学校跡地活用に関する要望書

貴職におかれましては、日ごろから瀬戸市政にご尽力いただきまことにありがとうございます。

さて、原山小学校跡地活用協議会(以下「本協議会」という。)では、菱野団地内3小学校の統合に伴い原山小学校(以下「原山小」という。)が令和7年度に閉校することから、この間原山小の跡地活用に関しできる限り地域住民の意向をくみ取りながらさまざまな方法で検討を重ねてきました。その結果、本協議会として原山小跡地活用に関する要望事項を以下のとおりまとめました。

市におかれましては、どうか本件を真摯に受け止めていただき十分な検討をしていただきますようお願い申し上げます。

記

1. はじめに(経過)

私たち菱野団地原山台の住民は、令和4年6月8日に原山小体育館で開催された市教育委員会主催の「菱野団地における公立学校の適正規模・適正配置原山台地区地元説明会」において、令和8年度に原山小と萩山小学校が八幡小学校に統合され、それに伴い原山小が令和7年度をもって閉校することを知らされました。そして、それ以降本地域内の住民からはさまざまな声が聞かれました。中には、在学児童や就学予定の子どもたちを心配する声やかつて学び舎だった母校を懐かしむ声、貴重な公共空間が失われてしまうのではないかとといった不安の声などもありました。そこで、原山台連合自治会(以下「本連合自治会」という。)では、こうした住民の声を真摯に聞き、またそれぞれの思いをとりまとめて、行政財産である原山小の管理者であり原山小跡地活用の実施主体である瀬戸市へ届けるべきだという機運が生まれました。

そこで、同年11月に本連合自治会が本協議会を設立しました。ただちに、本地域内の住民に対し本協議会を構成する委員会の公募委員を募集するとともに同年12月7日、10日には原山公民館で「原山小学校跡地活用検討会」を開催

し、市の関係部署の職員から改めて3小学校統合の経過などの説明を聞き意見交換しました。これを皮切りに、本協議会ではこれまでに17回の役員会と8回の委員会を開催し、原山小跡地活用の方向性や住民意見の集約などさまざまな内容を協議してきました(委員会は公開し委員以外の方の傍聴を認めました)。

また、令和5年9月から10月にかけて本連合自治会内の住民等1,100世帯に対し「原山小学校跡地活用に関するアンケート」を実施し、同委員会が決めた原山小跡地活用の方向性(5項目)を周知するとともに地域住民の意見を聞き取りました。さらに、同年10月8日と11月5日には本協議会と愛知工業大学野澤研究室、南山大学石川研究室とが協同して「原山小学校未来づくりワークショップ」を開催し、地域住民と大学生とがいっしょになって本地域内をまち歩きしたり、ガリバーマップづくりやペルソナ設定による原山小跡地活用の提案づくりなどを行いました。なお、本協議会のこれらの活動については、その都度「原小跡地活用ニュース」を発行し地域住民に周知してきました。そして、本協議会ではこれらの活動と並行して本地域内の関係団体や菱野団地内の八幡台、萩山台の自治会代表者(未来の菱野団地をみんなで作る会が仲介)に本協議会の活動内容を説明するとともに各団体の意向などをヒアリングしてきました。

このように、本協議会としては要望書を提出する過程においてできる限り公平で民主的なプロセスを経て内容をまとめてきました。ただし、これはあくまで原山小跡地活用を検討する上での一里塚と考えています。そのため、以下の要望事項においては、今後行政(市)と本地域(住民)の協働を期待する内容が含まれていることにご留意ください。

2. 要望事項(具体的な内容)

(1)跡地活用の方向性(5項目)を尊重してください。

本協議会では、役員と公募委員とで構成する委員会において協議を重ね、以下のとおり「原山小学校跡地活用の方向性」(5項目)をまとめました。従って、これらの内容を尊重して具体的な跡地活用方策を検討してください。

項目	内容等
①多世代交流の場	現状のコミュニティをもとに、住民誰もが交流できるとよい。 (活用例) 地域交流センター、福祉・子育て相談所 など
②文化・スポーツ活動の場	図書館や文化教室、運動・スポーツがで

	きるとよい。 (活用例) 図書館、グラウンドでの運動など
③異文化交流の場	外国ルーツの住民と日本人住民が互いに 学べ、交流できるとよい。 (活用例) 日本語・外国語教室 など
④施設の有効活用	原山小の校舎や体育館など既存施設を活 用できるとよい。 (活用例) 校舎の転用、体育館・運動場の貸出 し など
⑤避難所機能の維持	地震災害時の避難場所・避難所として残 してほしい。 (活用例) 防災拠点、避難場所・避難所 など

(2)住民アンケート結果を考慮してください。

令和5年9月から10月にかけて、本地域内の住民等(1,100世帯)を対象に「原山小学校跡地活用に関するアンケート」を実施しました(回答数261件)。従って、この結果も踏まえて具体的な跡地活用方策を検討してください。

【アンケート総括から抜粋】

- ・原山小跡地活用の方向性は、5項目のうち4項目が一定の割合で選択されておりほぼ了承された。
- ・原山小跡地活用を検討する上では、「災害時の避難場所・避難所の確保」が必須であり、「住民の憩いや活動の場の確保」を望む声も多かった。
- ・自由意見では、項目を分類し整理してみると多種多様で有意義な意見や提案が多くあった。

※アンケート結果報告書 別添

(3)本協議会と大学との連携ワークショップでの提案を斟酌してください。

令和5年10月8日と11月5日の2回にわたり、本協議会と愛知工業大学野澤研究室及び南山大学石川研究室とが協同して「原山小学校未来づくりワークショップ」を開催しました。その際、本地域内の住民のみならず両大学の学生等からさまざまな意見や提案が出されました。従って、これらの内容も斟酌して具体的な跡地活用方策を検討してください。

【ワークショップの内容】

第1回	参加者が2ルートに分かれて本地域内を歩き、その後2つの
-----	-----------------------------

	グループごとにガリバーマップに気付いた点などを書いて貼り、それらをもとに提案をまとめた。
第2回	参加者が3班に分かれてそれぞれ2人のペルソナを設定し、小学校跡地にどのような機能が求められるのかを提案にまとめた。

※ワークショップ結果報告書及び原小跡地活用提案書(愛工大学生) 別添

3. 市と本地域の協働について(波及事項)

(1)菱野団地内3台での意見調整に際し支援、協力をしてください。

菱野団地内3小学校の統合や分離型小中一貫校の実現、特別支援教育の充実については、原山台だけの問題ではなく萩山台、八幡台との調整が不可欠です。また、通学路や児童の心のケアなどの課題に対しても本協議会としては真摯に対応すべきと考えます。そのため、これまで〇回にわたり菱野団地内3台で「原山小学校跡地活用に関する意見交換会」を開催し、本協議会の活動を報告するとともにこれらの課題に対しても各台の自治会代表者と意見交換をしてきました。そのため、市においては今後関係各課が3台での調整に際し支援、協力をお願いします。

(2)本協議会とみんなの会との連携に助言、指導等をしてください。

平成31年3月に策定された「菱野団地再生計画」では、中・長期計画に小中一貫教育の実施や学校の適正配置の検討等が記載されています。また、同計画の施策実施団体として「未来の菱野団地をみんなで作る会」(以下「みんなの会」という。)が活動しています。しかしながら、現在のところ本協議会とみんなの会とは直接的な関係性はなく、間接的に関係者間で菱野団地内3小学校の統合や原山小跡地活用等について意見交換をしています。そのため、市においては今後関係各課で本協議会とみんなの会が連携すべく必要な助言、指導等の協力をお願いします。

(3)小学校統合に伴う課題等を検討する新たな組織の設立に尽力してください。

本協議会では、前述のとおり原山小跡地活用に関する本地域内の住民の意見や意向等を取りまとめて市に要望することを目的に活動を進めてきました。また、それに伴い菱野団地内の萩山台、八幡台の自治会代表者を始め関係団体や大学等の関係者など多くの人たちと意見交換をしてきました。それらを踏まえて、今回の要望書提出に至りました。そして、今後は本協議会の活動をきっかけにさらに菱野団地内3小学校統合に伴う課題や小中一

貫教育の充実等を幅広く検討していくための新たな組織の設立が必要と考えます。そのため、市においては官民連携の協議会設立にご尽力をお願いします。

(4) 本地域と市とで情報を共有してください。

地方自治の主役は住民で行政(市)はその執行機関です。よりよいまちづくりのためには、両者が協働してさまざまな問題に取り組まなければなりません。そのため、本件をきっかけに本地域(菱野団地)と市関係部署等で情報を共有し話し合っていけるよう配慮をお願いします。

4. その他(添付資料)

- (1)原山小学校跡地活用協議会規約
- (2)同協議会検討の記録
- (3)原山小学校跡地活用に関するアンケート結果報告書
- (4)原山小学校未来づくりワークショップ結果報告書
- (5)原山小学校跡地活用の提案書(愛工大生)
- (6)原小跡地活用ニュース(第1号～9号)

以上